

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関西学院 新第2教授研究館B棟建設工事	階数	地下なし、地上5F
建設地	兵庫県西宮市上ヶ原一番町2番31	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域・第2種住居地域	平均居住人員	590 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,600 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2022年8月22日
敷地面積	100,976 m ²	作成者	北崎浩司
建築面積	1,385 m ²	確認日	2022年8月22日
延床面積	6,646 m ²	確認者	松尾和生



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.1

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	屋根形状、色彩等に配慮し、既設建物との調和を計り、美しいキャンパス空間を構成している	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・高い断熱化(平成25年国土交通省告示第907号による)により、屋外の環境により左右されない熱環境の実現。	バリアフリーはもとより、各々の用途に応じたゆとりある空間の内装計画。	既存の植栽を維持し、建物と一体化した魅力ある外部空間の形成。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・全熱交換機、LED照明、節水衛生器具の採用により消費エネルギーの低減を図った。	・再利用可能な仕上げ材や節水衛生器具(便器等)、中水の利用等により環境負荷の低減を図った。	近隣に対する日照障害に十分配慮した計画としている、また、街路景観としても美しい街並みの形成を目指している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される